



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東  
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 政治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,109	△8.9	499	△2.8	514	△6.9	365	△2.4
26年3月期第2四半期	5,611	7.2	514	24.5	552	27.2	374	28.5
(注) 包括利益	27年3月期第2四半期 363百万円 (△8.4%)		26年3月期第2四半期 396百万円 (97.0%)					

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	16.23	—
26年3月期第2四半期	16.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	26,086	14,265	54.7
26年3月期	26,669	14,059	52.7
(参考) 自己資本	27年3月期第2四半期 14,265百万円		26年3月期 14,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	7.0	7.0
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.0	8.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,720	1.5	1,770	5.9	1,760	2.8	980	2.5	43.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期 2 Q	22,500,000株	26年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	27年3月期 2 Q	4,221株	26年3月期	4,221株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期 2 Q	22,495,779株	26年3月期 2 Q	22,495,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日)におけるわが国経済は、夏頃には消費税率引き上げの駆け込みの反動減が縮小して急回復とするシナリオでありました。

各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復していくことが期待されるものの、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクが強く懸念される状況が続いております。

当社グループのコア事業の主要マーケットとなる遊技場業界は、遊技参加人口の減少傾向、消費税の対応・転嫁の遅れの影響もあって遊技場を取り巻く経営環境は依然として厳しいものとなりました。

このような事業環境の中、当社グループは、開発・製造・販売・アフターサービスの一貫体制をもって付加価値向上に努めると共に、機器事業における周辺設備機器においては、低騒音・省電力とメンテナンスフリーを実現した『樹脂研磨式メダル自動補給システム』を戦略商品と位置づけ、これの拡販に引き続き注力いたしました。

なお、遊技機は、パチスロ機を市場環境の判断から第3四半期にリリースすることにいたしました。これらにより機器事業部門全体の収益は前年同期を下回ることとなりました。

不動産事業におきましては、第1四半期に賃貸開始した商業ビル(神奈川県海老名市/取得価額770百万円)が賃貸事業の収益向上に寄与いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,109百万円(前年同期比8.9%減)、経常利益514百万円(前年同期比6.9%減)、四半期純利益365百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (機器事業)

機器事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高4,826百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント利益560百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高298百万円(前年同期比11.4%増)、セグメント利益197百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成26年3月31日)に比べ582百万円減少し、26,086百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,764百万円減少し、13,879百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少(1,277百万円減)、受取手形及び売掛金の減少(713百万円減)の一方で、仕掛品の増加(269百万円増)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,181百万円増加し、12,207百万円となりました。これは主に賃貸用不動産の取得による建物及び構築物の増加(298百万円増)及び土地の増加(422百万円増)、有形固定資産その他(純額)に含まれる建設仮勘定の増加(788百万円増)の一方で、投資有価証券の売却による減少(331百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ788百万円減少し、11,820百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(2,202百万円減)、未払法人税等の減少(339百万円減)の一方で、短期借入金の増加(777百万円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(162百万円増)、長期借入金の増加(862百万円増)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ205百万円増加し、14,265百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(207百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は54.7%と前連結会計年度末に比べ2.0ポイント増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,277百万円減少し、4,332百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,630百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益547百万円の計上、減価償却95百万円の実施、売上債権の減少695百万円がある一方で、たな卸資産の増加117百万円、仕入債務の減少2,201百万円、法人税等の支払額474百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,292百万円となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入360百万円がある一方で、有形固定資産の取得による支出1,602百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,645百万円となりました。これは主に短期借入れによる収入777百万円、長期借入れによる収入1,750百万円の資金取得がある一方で、長期借入金の返済725百万円、並びに配当金の支払156百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の連結業績につきましては、機器事業において発売を先送りになっておりましたパチスロ機を第3四半期に発売(11月16日納品開始)を予定しております。これの受注が想定数量を超えていることもあり、平成26年5月9日の決算発表時に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,610,219	4,332,855
受取手形及び売掛金	3,892,151	3,178,708
商品及び製品	1,273,325	1,195,377
仕掛品	847,839	1,116,902
原材料	2,019,740	1,939,538
繰延税金資産	150,201	113,844
その他	1,872,108	2,010,610
貸倒引当金	△22,353	△8,625
流動資産合計	15,643,234	13,879,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,840,013	2,138,734
土地	7,039,212	7,462,171
その他（純額）	167,143	961,495
有形固定資産合計	9,046,370	10,562,401
無形固定資産		
ソフトウェア	42,500	37,500
その他	13,172	13,047
無形固定資産合計	55,672	50,547
投資その他の資産		
投資有価証券	1,463,796	1,132,786
繰延税金資産	1,247	1,644
その他	486,880	486,050
貸倒引当金	△28,000	△26,300
投資その他の資産合計	1,923,924	1,594,181
固定資産合計	11,025,967	12,207,131
資産合計	26,669,201	26,086,344
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,471,848	2,268,858
短期借入金	1,000,000	1,777,600
1年内返済予定の長期借入金	1,255,821	1,418,684
未払法人税等	501,658	161,952
賞与引当金	47,143	48,508
製品保証引当金	13,000	16,000
その他	338,773	247,978
流動負債合計	7,628,244	5,939,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,784,671	4,646,672
繰延税金負債	35,838	34,269
役員退職慰労引当金	458,260	462,904
退職給付に係る負債	28,616	30,641
資産除去債務	62,351	62,947
その他	611,769	643,926
固定負債合計	4,981,506	5,881,360
<b>負債合計</b>		
	12,609,751	11,820,942
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,330,910	12,538,653
自己株式	△4,002	△4,002
株主資本合計	14,007,507	14,215,250
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	51,942	50,150
その他の包括利益累計額合計	51,942	50,150
純資産合計	14,059,449	14,265,401
<b>負債純資産合計</b>	<b>26,669,201</b>	<b>26,086,344</b>



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,611,684	5,109,762
売上原価	4,310,188	3,935,891
売上総利益	1,301,496	1,173,870
販売費及び一般管理費		
販売促進費	106,975	2,304
役員報酬	95,598	95,562
給料手当及び賞与	112,360	93,130
賞与引当金繰入額	22,285	23,596
退職給付費用	13,066	14,439
役員退職慰労引当金繰入額	4,643	4,643
その他	432,384	440,453
販売費及び一般管理費合計	787,315	674,130
営業利益	514,180	499,740
営業外収益		
受取利息	1,795	1,697
受取配当金	14,367	10,441
その他	38,581	22,756
営業外収益合計	54,744	34,895
営業外費用		
支払利息	15,527	18,075
その他	1,045	2,149
営業外費用合計	16,573	20,224
経常利益	552,350	514,411
特別利益		
固定資産売却益	28,533	—
投資有価証券売却益	28,403	32,676
特別利益合計	56,936	32,676
税金等調整前四半期純利益	609,287	547,088
法人税、住民税及び事業税	207,480	146,495
法人税等調整額	27,547	35,379
法人税等合計	235,027	181,874
少数株主損益調整前四半期純利益	374,260	365,213
四半期純利益	374,260	365,213

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	374,260	365,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,704	△1,791
その他の包括利益合計	22,704	△1,791
四半期包括利益	396,964	363,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396,964	363,422

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	609,287	547,088
減価償却費	115,881	95,959
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,398	△15,428
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,000	3,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	881	1,365
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,111	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	2,024
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,643	4,643
受取利息及び受取配当金	△16,162	△12,138
支払利息	15,527	18,075
投資有価証券売却損益(△は益)	△28,403	△32,676
売上債権の増減額(△は増加)	424,118	695,118
たな卸資産の増減額(△は増加)	220,226	△117,282
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,002,056	△2,201,790
その他	△43,588	△136,618
小計	293,069	△1,148,659
利息及び配当金の受取額	16,167	12,138
利息の支払額	△16,068	△18,888
法人税等の支払額	△598,418	△474,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	△305,249	△1,630,309
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100,000	-
投資有価証券の売却による収入	407,804	360,882
有形固定資産の取得による支出	△130,200	△1,602,704
有形固定資産の売却による収入	490,447	-
無形固定資産の取得による支出	△22,849	-
貸付けによる支出	△30,000	△65,000
貸付金の回収による収入	7,999	22,999
子会社株式の取得による支出	△502,000	-
その他	△9,065	△8,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	312,137	△1,292,725
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	777,600
長期借入れによる収入	1,500,000	1,750,000
長期借入金の返済による支出	△966,228	△725,136
自己株式の取得による支出	△42	-
配当金の支払額	△112,225	△156,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	421,504	1,645,672
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	428,391	△1,277,363
現金及び現金同等物の期首残高	3,522,283	5,610,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,950,675	4,332,855

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,358,755	252,928	5,611,684	—	5,611,684
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,700	14,700	△14,700	—
計	5,358,755	267,628	5,626,384	△14,700	5,611,684
セグメント利益	577,765	175,779	753,544	△239,364	514,180

(注) 1 セグメント利益の調整額△239,364千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,826,401	283,361	5,109,762	—	5,109,762
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,700	14,700	△14,700	—
計	4,826,401	298,061	5,124,462	△14,700	5,109,762
セグメント利益	560,807	197,930	758,738	△258,997	499,740

(注) 1 セグメント利益の調整額△258,997千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。